

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法について
定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

なし

3. 基本財産の財源等の内訳

なし

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	473,445	158,595	314,850
商標権	631,390	315,695	315,695
合 計	1,104,835	474,290	630,545

5. その他

科目の表示箇所の変更

当年度における「事業収益」の「セミナー参加料」及び「懇親会収入」は、前年度ではそれぞれ「受取会費」、「懇親会会費収入」及び「雑収益」の中の科目として計上していたが、今年度より「事業収益」の科目の中に計上し、科目の表示方法を変更した。